

## ネイチャーセンター 準備室だより



写真：太齋彰浩

### 朱色の マボヤ

「ホヤは植物？」時々そんな質問を受けることがあります。赤くて丸い体に無数のコブ、下の方には根つこのようなものがついていて確かに植物のようにも見えます。海のバイナツブルとも呼ばれるマボヤですが、実は立派な動物です。

マボヤは、体から突き出した二本の管の一方（入水孔）から海水を吸い込み、細かな網目状のエラでプランクトンなどをこしとって食べて成長します。もう一方の管は出水孔で、ろ過した海水はここから出て行くわけです。魚屋さんに並ぶマボヤをよくみて頂くと、入水孔の先はプラス（＋）の形に、もう一方の出水孔はマイナス（－）の形に口が閉じているのがわかります。

写真は志津川湾の天然のマボヤたち。鮮やかな朱色が、東北の海底に彩りを添えています。三陸の海の恵みをたっぷり取り込んだマボヤは今が旬の季節。豊富に含むミネラルやグリコーゲンは美容と健康にも効果が期待できます。海底での鮮やかな姿を思い浮かべながら、ぜひ今晚の食卓で味わってみてはいかがでしょうか。

### 編集後記

▶ついに完成しました魚市場。落成後、市場にセリの取材に行ったのですが、競り人の威勢の良い声が場内に響いて、活気に溢れていました。そんなセリの様子を見学することができます。帽子と長ぐつを持って、みんなで新しく出来た町の台所 魚市場を見に行きましょう！▶セリの取材に行ったときにもズラリと並び、本紙面の上部にも掲載している旬のホヤ。初めて食べるときにはドキドキしたのですが、食べてびっくり。すごく美味しい。何とビールに合うこと。広報紙の校正をしていると、このホヤの写真が何度も目に入り、とても喉が渇きました。こういったものを新鮮な状態でいただけるのは、この地域ならではのですね。幸せです。

▶魚介類を見ていると、「トコヤッサイ」を思い出します。「イカさん、タコさん、…♪」。小さい頃は、トコヤッサイは全国的な踊りだと思っていました。それくらい自分にとっては、馴染みのあるものです。もうすぐ夏祭り、あの音楽が聴けると思うと楽しみです。 小野寺

## わが家のアイドル



なぎ と  
阿部 凧人くん

(長羽)

平成27年10月14日生まれ

パパ 正亀さん

ママ 和美さん

### おうちの方より一言

みんなに愛されて  
すくすく成長中！笑顔がすてきな男の子  
になってね！